

第9回戦術委員会確認事項

2012年5月23日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協：IMF-JC)

金属労協は、本日10時より第9回戦術委員会を開催し、現時点までに引き出した回答を集約するとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 金属労協全体では、3,311組合のうち、2,826組合が要求を提出し、2,356組合が回答を引き出している。

賃金構造維持分・賃金改善分を明確に区分できる1,760組合のうち、賃金構造維持分を確保した組合は1,596組合となった。このうち賃金改善を獲得した組合は302組合・17.2%となり、前年同時期の12.2%を上回っている。

一時金は、昨年と比較できる1,580組合のうち、733組合・46.4%が前年実績に上積みし、494組合・31.3%が下回った。また、年間5カ月(半期2.5カ月)以上獲得した組合が20.0%、4カ月以上5カ月未満が21.3%、4カ月未満が36.5%となっている。平均獲得月数は4.17カ月となり、昨年4.20カ月と同程度の水準となっている。

2. これまでに回答を引き出した組合は、要求提出組合の83.4%となり、前年を5.9ポイント上回るペースで回答を引き出している。賃金改善獲得組合は前年同時期を上回り、一時金は半数近い組合が前年を上回る水準となっている。

これまでの回答引き出し状況を踏まえ、各組合は、産別指導の下、要求実現に向けて粘り強く交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。

3. 第10回戦術委員会は、6月27日(水)10時より開催する。

以 上